



防災リーダー応援隊長
ハッシーくん →



第32号

令和7年8月号

発行：豊橋市防災危機管理課

電話：51-3126

豊橋市公的備蓄品

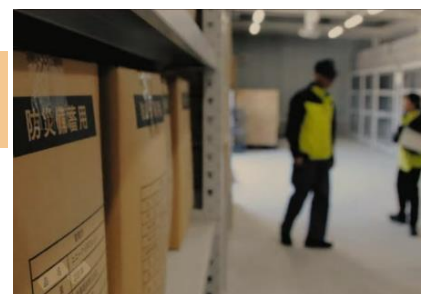
の考え方を ご紹介 します

豊橋市では、防災の観点で色々な計画を作成しています。参考までに、
【豊橋市地域防災計画・水防計画】【豊橋市国民保護計画】【豊橋市津波避難
行動指針】【豊橋市地域強靱化計画】など様々なものがあります。（一部抜粋）
今回は【豊橋市の公的備蓄】についての考え方ををご紹介します。



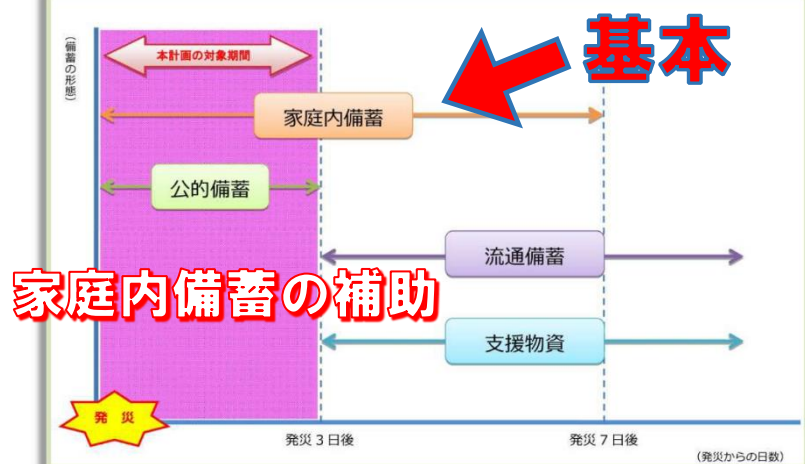
市の備蓄は、家庭の不測の事態を補うためのもの

豊橋市は、「自分の命は、自分で守る」という防災の基本理念
に鑑み、ご家庭や地域・企業での備蓄を促進しています。各自
が自身の必要な物資を備蓄しておくことが重要となります。



ただし、大規模災害時にはご自身で備蓄していた物が、取り出せなくなったり、使用できなくなったりすることがあります。この様に、準備はしていたが、使用できない方のために、市は備蓄品を購入し管理しています。

そして、その考え方は【1日2食】【概ね3日程度】で、流通備蓄や支援物資が届くまでのつなぎ備蓄での考えしかありません。本当に必要最低限と言わざるを得ないのです。



家庭内備蓄の補助

避難所では、誰でもすぐにもらえる？

災害時だから、市が何とかしてくれるという考えは捨てて、自分で何とかする！と本気で考えて欲しいのです。

ちなみに、台風が接近して市民館などに事前避難するような場合には、市の備蓄品を提供することは原則ありません。全てご自身の準備の下、食料も飲料も生活用品もご用意ください。

想定外に自身の備蓄が使えない場合のみ、市の備蓄が効果を発揮するという事をご理解ください。

基本は家庭内備蓄です。優先的に市の備蓄を頼りにするものではありません。

知って欲しい

市の備蓄食料

乾パンなど **30万食**

誰のもの？ 配る**優先順位**は決まってる？

豊橋市が計画し準備している備蓄品は乾パンやアルファ化米、保存水といった食料や飲料であり、用意する数量が決められています。



市民の **全員分** として用意しているものではない！

市の計画では、**家屋が倒壊**などして**非常用持出品**などを持ち出せなかった避難者などに**提供**するための食料、生活必需品及び、災害応急対策に必要な資機材を用意しています。

実は、その提供想定人口（想定避難者数）【食料等持ち出せなかった避難者】は、5万人を予想値として設定しています。

提供対象人口（1日あたり） × 日数 × 食数 = 公的備蓄食料（目標）

50,000（人） × 3（日間） × 2（食） = 300,000（食）

豊橋市内の避難所や備蓄倉庫などに備えられている食料は、**300,000食**を下回らないように設定し、厳密に**賞味期限を管理**しつつ、期限が近付いたら**新しい物を購入し、入れ替え**を行っています。もうじき期限が切れそうな物はもちろん廃棄などはせず、地域の防災訓練などでお配りしたり、小中学校などの防災授業で試食したりしています。

50,000人分しか用意していないのか！市の備蓄なんだから！もっと多めに用意しろ！人口36万人分以上用意しろ！と言われることもあります。

もちろん、これらは**市の税金で買い替え**を行っていますので、過剰に購入することもできないのが現実です。これを増やすには、今ある計画を変更して、提供対象人口の見直しを行い、市の予算を防災の備蓄品に増やすことが必要となります。現状は、必要最低限の備蓄食料を市で用意しているということをご理解いただければと思います。

では、どうすれば良いか？ 各自（各家庭ごと）「**自分の食料は、自分で用意する**」ということが、すなわち「**自分の命は、自分で守る**」ということにつながります。

兎にも角にも、行政や他人に頼り過ぎず、『**自分（達）のことは自分（達）で！**』が、防災の基本となります。

新しい活動を紹介します
情報募集

新しい取組や、
おもしろい取組

防災会ニュースで紹介させてください。

豊橋市役所 防災危機管理課 TEL 51-3126

豊橋市防災キャラクター

「**ボウサイマンZ**」

応援よろしくお願いします！

